



奈川の人口	
令和2年3月1日現在	
総世帯数	325世帯
総人口	669人
男	314人
女	355人

発行 奈川公民館
 発行者 忠地 愛男
 編集者 公民館報編集委員会
 印刷 (株)プラルト

ボッチャ体験交流会

奈川小中学校で1月20日、「ボッチャ体験交流会」が行われ、小学生と地域住民が交流を深めました。

「ボッチャ」はジャックボールと呼ばれる白球に向けてボールを投げ、白球との近さを競う競技です。

はじめに日本ボッチャ協会所属の田口さんが講師を務め、投球の順番や得点方法など、ルールを指導を受けました。

競技が始まると大人も子どもも真剣な眼差しで投球し、回数が増えることに皆上達して、ゲームも白熱していきました。

参加した住民の一人は「子どもと一緒にできる競技は少ないので、今日は貴重な体験ができました。楽しかった」と笑顔で話していました。



ボッチャとは



パラリンピックの正式種目であり、誰もが楽しむことができるユニバーサルスポーツです。年齢、性別、障がいの有無を越えて地域で交流の輪を広げましょう。

2月11日には、第一回パラウェーブNAGANOカップの県大会が、安曇野市で開催され、奈川小中学校が招待チームとして参加。県下の強豪チームとも対戦し、技術力を向上するとともに、多くの人と交流し良い経験の機会となりました。



復活！ひよこ教室



ばで小学生と交流。デイサービスセンター内でじじばばと交流。夏の気候が良いときは、乗鞍高原一の瀬園地でピクニックやハイキング。奈川フォレストフィールドで遊んだ日もありました。奈川小中学校のお部屋をお借りして、小中学生と交流したり、具材を持ち寄ってお味噌汁を作り、みんなでお昼を食べたりもしました。

来年度も活動を続ける予定です。子連れじゃなくても、じじばば、父ちゃん、母ちゃん、兄ちゃん、姉ちゃん、一時帰省中の方、どなたでも気軽に来てください。

代表 関谷 野枝



かつては、奈川地区に住む未就学児の親子が集う場でしたが、子どもが減った今「子どもを囲んで誰もが集う場」になればと活動しています。月に3、4回程度開催し、安曇地区の方にも声をかけ、現在10組程の親子がメンバーです。この一年、次のような活動を行いました。春休み子どもひろばと同日に福祉ひろ



小学生に
あやさん
おきげん

そば打ち講習会

奈川地区の伝統文化であるそば打ちを学び、実践する「そば打ち講習会」が1月24日に行われました。

この日は講師に小林照美さんを招き、10名の参加者がそば打ちに挑戦しました。

参加者は講師から「そば打ちの水回しが重要です。水がしっかりなじまないと、そばが切れてしまいます」とアドバイスを受け、慎重に指先で水とそば粉をなじませました。

最後に自分たちで打ったそばを「とうじそば」にして試食し、奈川の伝統の味を楽しみました。



奈川女性消防隊・防災について学ぶ

2月16日、文化センター夢の森にて、松本市危機管理課防災専門官による、出前講座が開催されました。

防災の目標は「命を守る」ことであり、日頃から防災計画を立て、自分の地区の危険区域や避難所についてしっかり把握して、とにかく早く早めに避難することが確実に命を守る方法だということを学びました。



放課後子ども教室 卒業進級を祝う会

2月25日、文化センター夢の森にて放課後子ども教室の卒業進級を祝う会が行われました。

子ども教室を卒業する6年生3人へ下級生からプレゼントを渡し卒業をお祝いの後、節分を兼ねた「まめガチャころころゲーム」が始まりました。各々が景品に狙いを定め真剣な眼差しでガ



チャポンを転がしていました。また、お休みしてしまっただ子のために全員で景品を選んであげる奈川っ子らしい優しい姿もありました。

最後のお菓子のプレゼントにも大喜び、どの子も笑顔いっぱいでした。



野麦路



もういくつ寝ると…とつぶやいているうち、矢のように時は過ぎて年度末を迎えてしまった。一年のたつのが年々早く感じるのは年齢のせいだと聞いたことがある。

子どものころは毎日が新しいことの連続で新鮮だから、毎日が長くて、そのために一年もとても長く感じるのだとテレビで言っていたのを記憶している。そうだなあ、小学校の二期期なんてほんとに長くて冬休みが遠く遠くにあった気がする。

脳に良い刺激、例えば読書や手先を使う、脳のトレーニングといわれるパズルをしたりのするのはよいことなのだろう。小学生用の算数のドリルを時間を計って毎日取り組むのもよいのだと聞いた。

何もしなくても毎日は通り過ぎていく。せめて脳に刺激を与えて有意義に生きていきたいと考えている遅めの今年の抱負である。

抱負も忘れてしまわないように手帳にしっかりと書いておくなくては！(竹田原 優子)